

## 交換留学生としての日本での生活

タマサート大学

タナシャイラヴィーパット・パットラティダー

私にとって、日本に来るのは今回が初めてであり、また人生で初めての海外渡航でもありました。このような貴重な機会を与えてくださった、タマサート大学およびお茶の水女子大学に心より感謝申し上げます。初めて一人で海外に来ることはとても不安でしたが、空港では大学のチューターの方が迎えに来てくださり、日本に到着した瞬間から安心することができました。生活のさまざまな場面で助けていただき、彼女は日本での最初の友人でもあり、心から感謝しています。

最初の二か月間は、気候や学習環境、寮での一人暮らしなど、新しい生活に慣れる必要があり、最も大変な時期だったと思います。しかし、授業と一緒に学んだ友人たちの支えや、親切で丁寧に指導して下さる先生方のおかげで、少しずつ環境に慣れ、日本での生活や勉強を楽しめるようになりました。



また、授業内容には、日本語学習を楽しく感じられる活動が多くありました。日本の小学校を訪問し、小学生と交流する活動や、授業内で行われた百人一首かるた、文学の授業などを通して、日本語や日本文化をより身近に学ぶことができました。

大学の立地もとても便利で、新宿、浅草、池袋、上野など、東京の人気観光地へも電車で簡単に行くことができました。友人たちと一緒にさまざまな場所を訪れ、授業で先生が紹介して下さった場所を実際に見ることができたときは、とても感動し、日本について学ぶ楽しさがさらに深まりました。

一学期間の交換留学を通して、授業での学びだけでなく、自立した生活を送る力や責任感も身につけることができたと思います。また、日本の文化や人々の生活を身近に感じることができ、この経験は他では得られない、とても貴重なものになりました。

